

■ 県内分布

沼島

■ 国内分布

北海道西岸、本州、八丈島、九州、南西諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	

■ 特記事項

暖海性の種で、この海域では希産。Huisman et al. (2004)はフサノリ科として取り扱うことを提案している。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

配偶体は円柱状で規則正しく叉状に分岐して腋は狭い角度になり、枝はみな同一の高さに達す。体は高さ10-20cm、太さ2-3mmになる。体は柔らかい膜質で粘質に富み、乾燥するとき紙に付着する。雌雄異株で、精子嚢は皮層の細胞から棍棒状の精子嚢母細胞がのびて体表面に突出して形成される。嚢果は枝に散在し、皮層の下にある。



写真提供：川井浩史